

2021年3月期業績予想における 新型コロナウイルスの影響について

※決算説明会資料より抜粋

2020年5月22日

森永製菓株式会社

将来予測・業績予想について

本資料には、当社（連結子会社を含む）の見通し、計画、目標など将来に関する記述が含まれておりますが、これらは当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定を基礎としたものであり、将来における当社の実際の業績または展開と異なる場合があります。

2021年3月期 業績予想 (2020年4月～2021年3月)

※新型コロナウイルスの影響は、主に上期に生じ、下期にかけて収束に向かうと想定
健康部門や国内子会社への影響が大きく、中計最終年度目標は未達を見込む

【連結】2021年3月期 業績予想（上期について新型コロナウイルス影響を想定）

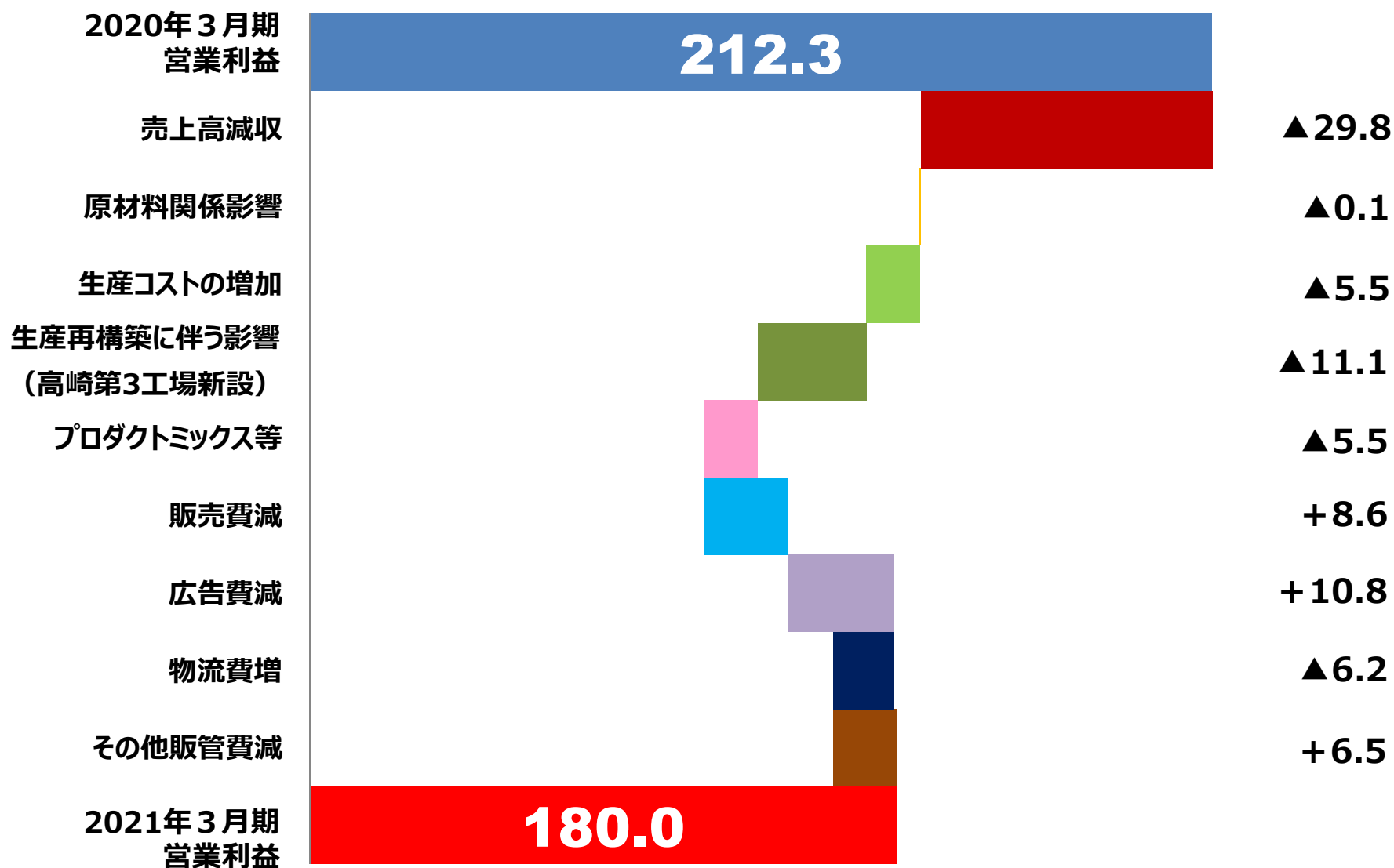
- 売上高：（+）主カブランド強化、戦略的なチャネル展開、グローバル領域の拡大
（-）プリングルズ販売店契約終了、新型コロナウイルス影響
- 損 益：（+）原価低減取組み、コストコントロール強化
（-）減価償却費増加、新型コロナウイルス影響（減収、プロダクトミックス悪化）

（単位：百万円）












	2021年3月期 通期予想	前期実績	前期比較 (前期比)
売上高	198,000	208,878	▲10,878 (94.8%)
営業利益 〔営業利益率〕	18,000 〔9.1%〕	21,230 〔10.2%〕	▲3,230 (84.8%)
経常利益	18,300	21,950	▲3,650 (83.4%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,300	10,824	+1,476 (113.6%)
EBITDA	26,250	27,460	▲1,210 (95.6%)

【連結】2021年3月期 営業利益増減要因

(単位：億円)



【新型コロナウイルス影響】2021年3月期計画における考え方

	売上高	営業利益	主な影響および対応策
菓子食品 (国内)			キャンディ苦戦も、巣ごもり需要のあるビスケット、スナック、ケーキミックス等の生産強化、販売費のコントロールで売上・利益を維持
冷菓			スーパー中心に巣ごもり需要あり。主力のジャンボグループに加え、マルチパック商品などの売上伸長を図る
健康			日常行動の変化に伴いゼリー飲料市場苦戦。新たな食シーン提案や新商品によりリカバリーを図るが、売上・利益ともに影響あり
国内子会社 [*] (事業会社)			主要得意先や販売店舗の休業による販売機会喪失、外出自粛影響による売上減など、売上・利益ともに大幅に影響あり
海外			現地の感染拡大に伴い一部小売業の休業影響あり サプライチェーンのリスクマネジメントにより生産体制を維持
その他	—		販管費の削減を中心にコスト管理強化

* 国内子会社は以下を対象に記載：食料品製造セグメント（菓子食品事業）2社、食料卸売セグメント1社、不動産及びサービスセグメント1社

**現時点での
影響見込**

売上高 : ▲80億円
営業利益 : ▲25億円

2018中計 経営目標

(単位：億円)

	2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期	
	中計計画	実績	中計計画	実績	中計計画	予想
売上高	2,100	2,053	2,150	2,088	2,200	1,980
営業利益	200	202	210	212	220	180
EBITDA	265	260	285	274	310	262

中計策定時との差異 (2021年3月期)

要因

- ・インドネシア合併解消
- ・プリングルス販売店契約終了
- ・新型コロナウイルス影響